

GX2外部無線接続手順書

基地局側（無線機モデル：XESP1E）

事前準備

- PTS3.0とGNSS受信機はBluetooth接続済みであること。
- GNSS受信機とデジタル無線機の接続が完了していること。
- デジタル無線機の操作等は、無線機の説明書を参照。

ご注意

- 送信出力をHで使用すると、無線機本体が非常に高温になり、触るとやけどの危険があります。
- 送信出力をHで使用すると、無線機本体が非常に高温になり、自動で送信出力を制限する場合があります。
- 30分以上連続して使用する場合は、通信距離は短くなりますが送信出力をMに設定してのご使用を推奨いたします。
(送信出力の切り替えはコントローラの+/-キーを使用します)

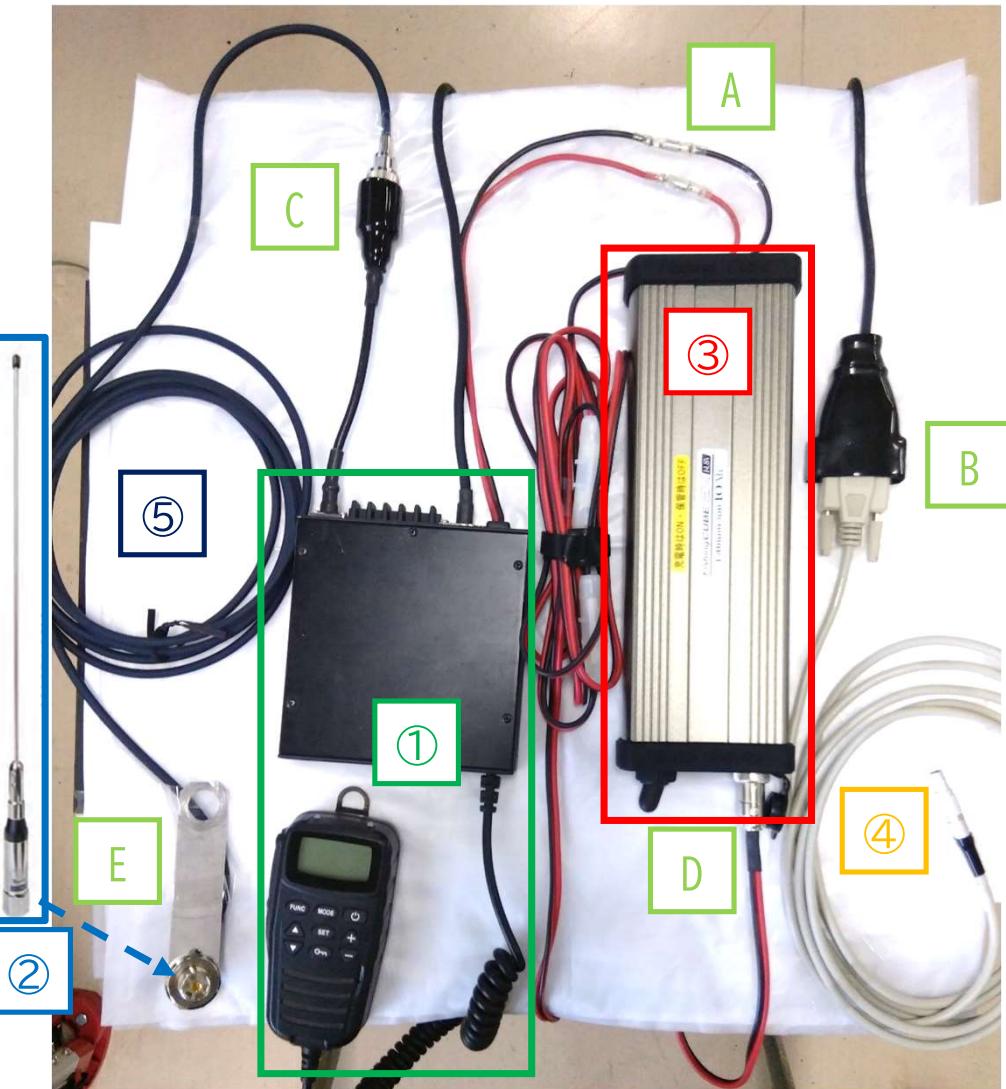
設置例

- ・基地局全体配置
- ・アンテナ取り付け位置
- ・測高金具の配置



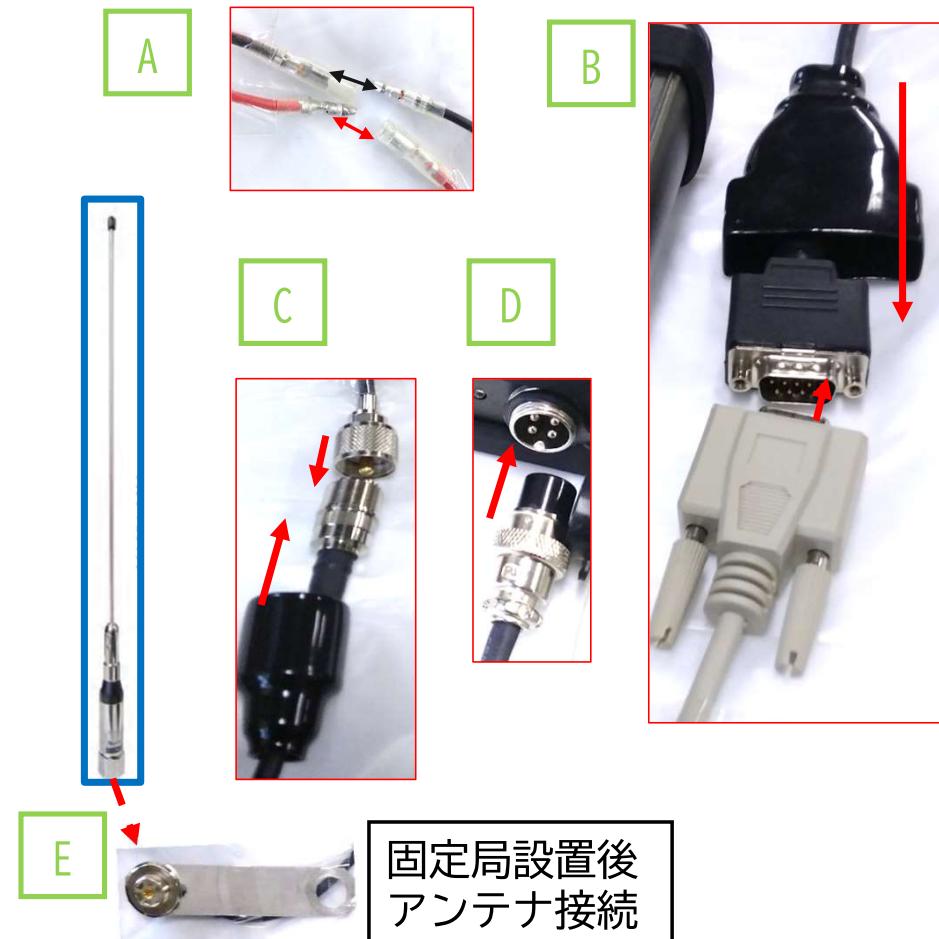
無線機セット一覧

- 無線機 (①緑枠)
- アンテナ (②青枠)
- バッテリー (③赤枠)
- データケーブル (④)
- アンテナケーブル (⑤)



無線機セット ケーブル接続詳細

- A. 無線機電源コードの接続
同じ色のコードを接続する。
- B. 無線機データケーブルの接続
コネクタ接続後、ロックネジを締め、カバーでコネクタを覆う。
- C. アンテナケーブルの接続
無線機のRFコネクタとアンテナケーブルを接続する。ケーブル側のピンを無線機側のコネクタに差し込み、外側のシエルをねじ込み、接続部を固定する。シエルをねじ込む際はコネクタを持って作業すること。
- D. バッテリーコネクタの接続
プラグをバッテリーに差し込んだのち、枠ネジを締めて固定する。
- E. アンテナの取り付け
ベースの金具を固定した後、アンテナを取り付ける。



無線機と接続

受信機の下側、IOI0と記載されているカバー(青枠で囲まれている箇所)を開ける。



GX2外部無線接続手順書 基地局側

無線機と接続

露出したコネクタ(図上)に付属のデータケーブルを接続する(図下)。



基地局を選択

- PTS3.0はGX2と接続済みであること。
- 基地局(赤枠)を選択。



基地局モード設定

- 起動モードに「基地局座標を入力」を選択。



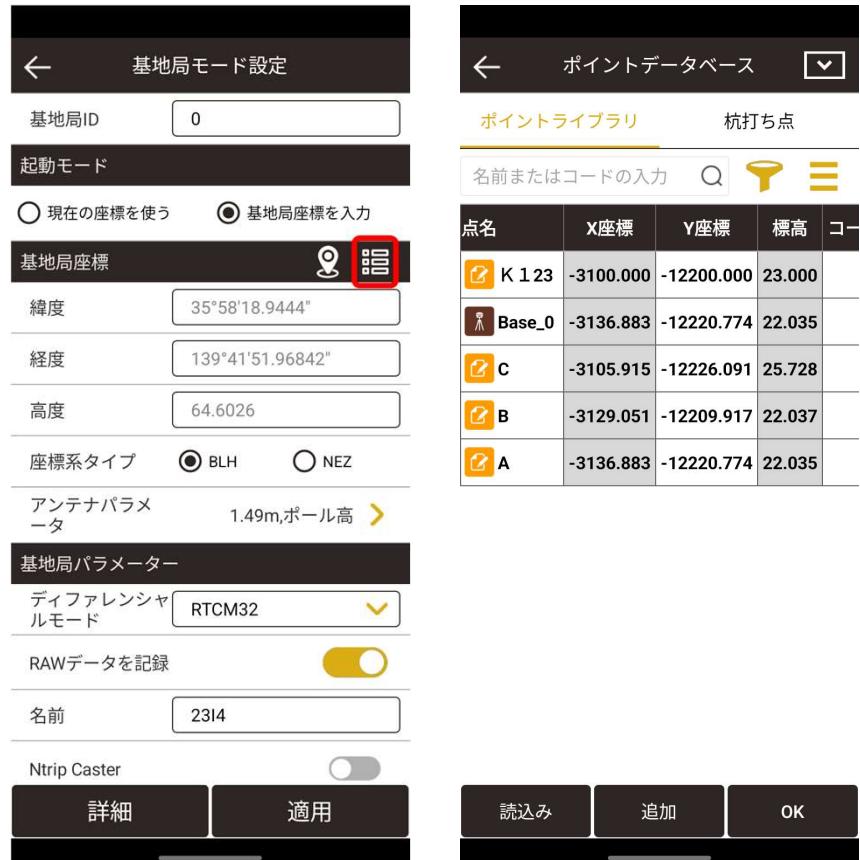
基地局座標点の記録

- 現在の点を記録する場合、赤枠で囲んだアイコンをタップ。
- 点の記録を行う場合、衛星がFIXしていることが望ましい。
- 画面下部「OK」で終了。
(FIX解を得るには、この画面に入る前に移動局モードでRTKまたはVRS測位をする必要があります。)



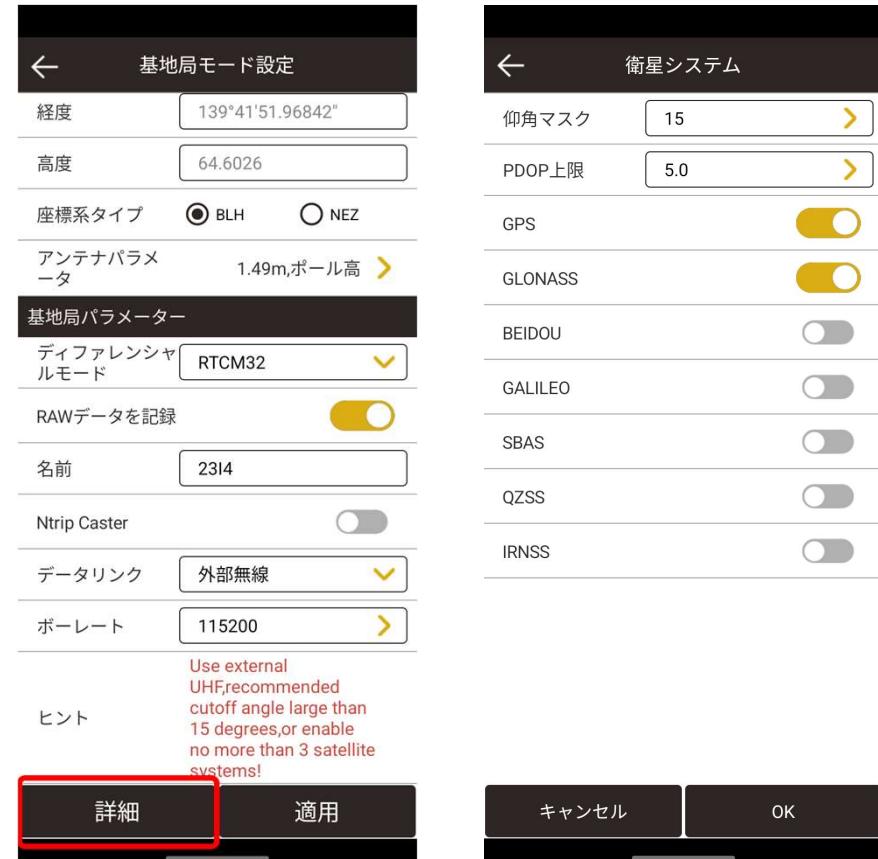
基地局座標 登録済みの点を使用

- 登録済みの点を使用する場合、赤枠で囲んだアイコンをタップ。
- 基地局の座標として使用する点をデータベースから選択する。
- 新しく点を登録する場合は、データベース下部の[追加]タップし、座標入力画面に移動し、点情報を入力する。



衛星を選択

- 左図: 詳細(赤枠)をタップ、「衛星システム」画面(右図)に入る。
- 右図: 使用する衛星を選択。
 - 衛星を受信する条件が良い場合(空が開けている等)、GPS と GLONASS を選択する。
 - 衛星を受信する条件が悪い場合(建物や植物等で空が開けていない等)、GPS と GLONASS に加え QZSS を追加で選択する。



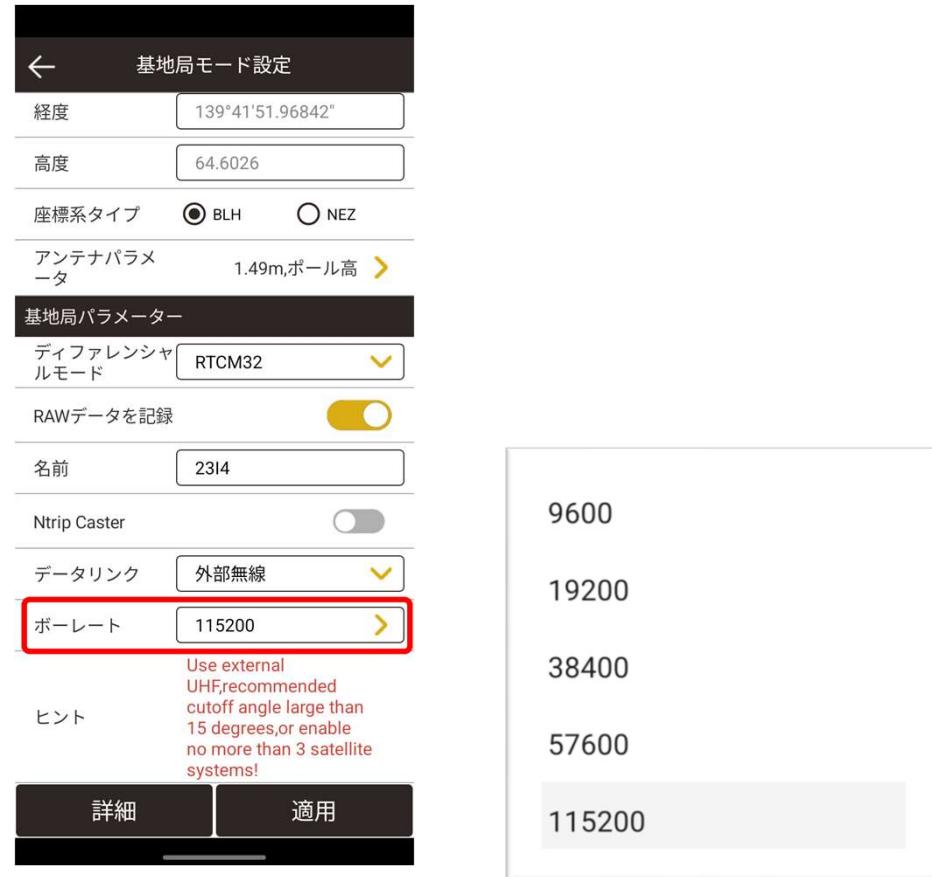
外部無線を選択

- データリンクをタップ。
- 「外部無線」選択。



通信速度を設定

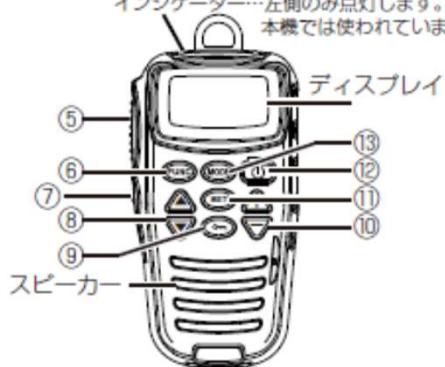
- 無線機-GNSS受信機間の通信速度。
- 無線機に合わせた値を設定する。
- 推奨値: 115200。



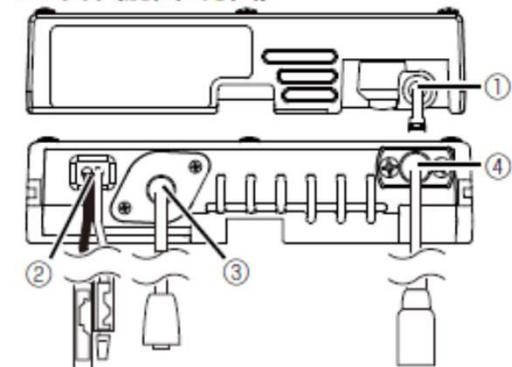
無線機各部の名称と機能

No.	名称	機能
①	コントローラー	付属のコントローラー(EMS-75)が接続されています。
②	DC電源コード	DC電源を接続します。
③	D-sub9コネクタ	D-sub9ピンコネクタデータ端子です。
④	アンテナコネクタ	DCRの規格に準拠して製造された指定のアンテナ(インピーダンス50Ω)を接続してください。
⑤	キャンセルキー	押すと各種設定画面からチャンネル表示画面に戻ります。
⑥	FUNCキー	押すとFが点灯してFUNCモードになります。
⑦	モニターキー	押すとユーザーコードを表示します。
⑧	▲/▼キー	チャンネル・各設定値・設定項目のUP/DOWN
⑨	■キー	長押しするとキーロックが動作します。
⑩	+/-キー	送信出力を切り替えます。(XESP1Eのみ)
⑪	SETキー	各設定値が点滅して、変更可能となります。
⑫	○[POWER]キー	長押しすると電源を入/切します。
⑬	MODEキー	待受画面では押している間、変調方式を表示します。 セットモード時では設定値変更時の桁移動に使用します。

■コントローラー(EMS-75)
インジケーター…左側のみ点灯します。右側は本機では使われていません。

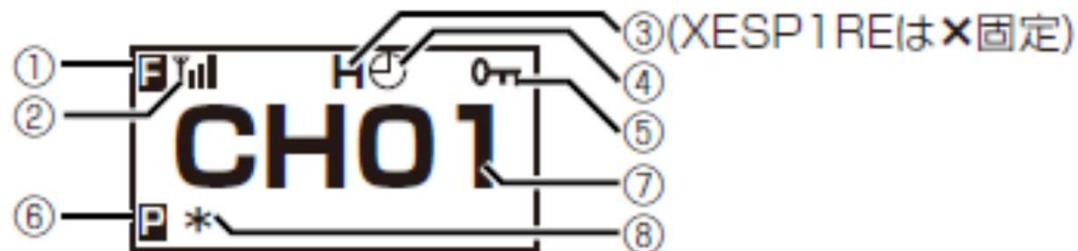


■本体(前面/背面)



無線機操作部の表示説明

■ディスプレイ表示



No.	表示	説明
①	F	FUNCキーを押したとき点灯します。
②	■■■	受信した電波のレベルに応じて四段階に点灯します。
③	H/M/L/X	送信時の出力設定を表示します。H:5W/M:2W/L:1W/X:受信のみ
④	○	オートパワーオフ機能有効時に点灯します。
⑤	0m	キーロック動作時に点灯します。
⑥	P	データパケット送受信中に表示します。(XESP1REは受信のみ)
⑦	CH01	送信・受信チャンネル番号や各設定内容を表示します。
⑧	*	変調方式がPi4DQPSKで点滅し、4FSKで消灯します。

無線機の設定一覧

■セットモード一覧

項目	表示	設定値
変調方式	変調方式	Pi4DQPSK/4FSK
スケルチ調整	スケルチ	0/1/ 2 /3/4/5/6/7/8/9
ピーブ音量設定	ピーブ音量設定	0/1/ 2 /3/4/5/6/7/8
ユーザーコード設定	ユーザーコード	000~511
送信開始設定※1	送信開始設定	自動(フロー制御有)/自動(フロー制御無)
送信制限警告音※1	送信制限警告	OFF/ ON
オートパワーオフ	APO	OFF/30分/1~12時間
コントラスト設定	コントラスト	1/2/3/4/5/6/7/ 8 /9/10
照明設定	照明設定	消灯/ 5秒 /10秒/20秒/30秒/常灯
明るさ設定	明るさ	暗い/ 標準 /明るい
オートスキャン	オートスキャン	OFF/ON
受信モード※1	受信専用	OFF/ON
RS232C通信速度	RS232C通信速度	9600/14400/19200/28800/ 38400/57600/ 115200bps
最適CHサーチ機能	最適CHサーチ機能	全CHサーチ状態(CH15を除く)

※初期値は**太字**の項目です。

※1 : XESP1Eのみ

無線機の設定操作

■セットモード基本操作

◎セットモードの設定方法

- ①FUNCキーを押した後  アイコンが表示されている間にMODEキーを押してセットモードに入ります。
- ②▲/▼キーを押して設定したい項目に合わせます。
- ③SETキーを押して設定値を点滅させて▲/▼キーで設定内容を変更します。
- ④もう一度SETキーを押して設定内容の点滅を止めると設定が決定します。
- ⑤キャンセルキーを押すとセットモードからデータ伝送ができる状態に戻ります。

バッテリーの充電

- バッテリーの充電には、専用充電器（Fishing CUBE 14.8V用充電器）を使用してください。

- 充電器のケーブル先端の4極プラグをバッテリーに接続。
- 充電器をAC100Vコンセントに接続。
- バッテリーのSWをONする。

充電器のLEDが緑点灯：バッテリーSWがOFFまたはSWがONで充電完了

充電器のLEDが赤点灯：充電中

